

第 1 回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	辻本 利勝

開催日時	令和 6 年 6 月 19 日(水)16:00~
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2 階 会議室
出席者(委員)	福島秀晃会長、中田昌彦副会長、木村幹彦委員、 岸野圭吾委員、前川勝則委員、金庫利行委員
出席者(学校)	辻本利勝校長、島和広教頭、田中浩事務長、河村未来首席、島田浩史教諭、 森谷晃子教諭、大倉哲也教諭、中野瑛教諭、上垣内崇裕教諭
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市岡高校卒業生の進路状況と入試結果</li> <li>・令和 6 年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>・令和 7 年度 使用教科用図書選定理由書</li> </ul>
議題等	
<p>(1) 学校長あいさつ</p> <p>(2) 確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について</li> <li>②令和 6 年度学校経営方針、取組みの状況と令和 5 年度卒業生の進路状況等について             <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)令和 5 年度卒業生（76 期生）進路状況について報告</li> <li>(ii)令和 6 年度「学校経営計画および学校評価」について</li> </ul> </li> <li>③ 「令和 7 年度使用教科書選定」について</li> <li>④ 令和 6 年度授業アンケート実施について</li> </ul> <p>(3) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境の整備</li> <li>・生徒の『自主性』の育て方</li> <li>・学校現場の IT 化</li> </ul>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>(2)確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> </li> <li>②令和 6 年度学校経営方針、取組みの状況と令和 5 年度卒業生の進路状況等について             <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 令和 5 年度卒業生（76 期生）進路状況について報告                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 割以上の生徒が大学に進学。</li> <li>・ 令和 5 年度の国公立大学進学者は現役で 20 名。(例年より少し減少)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

- ・国立大の後期試験まで粘った人が合格しているので、「最後まで諦めない粘る指導」の方針は変わらず
  - **最近の傾向** 最後まで粘らず、私大の関関同立等に行ってしまう
- ・今年の3年生も、例年同様に関西大学が人気である。

(ii) 令和6年度「学校経営計画および学校評価」について

- ・「確かな学力」の育成をめざし、学習環境の整備（勉強に向かわせる仕掛け）が必要。
- ・ICT機器を授業の中にどう組み込んでいくか、学校全体で考えていく必要がある。
- ・生徒の「自主性」とは何かを考え、どこまで教員が手をかけるのか検討していく。
- ・学校で勉強ができるように、スタディールームの整備を行った。（令和6年5月）
- ・部活動加入率は87%と高い水準になっている。特に1年生の加入率が高い。

③ 「令和7年度使用教科書選定」について

- ・7月5日を期限に、令和7年度の授業内で使用する教材を選定する。

④ 令和6年度授業アンケート実施について

- ・アンケートは、GoogleFormにて実施。サーバー容量の関係で、各学年ごとに1日ずつずらして実施する予定。

(3)協議

[学習環境の整備について]

- Q. 今後、予算が厳しくなる中で整備をどう進めていくか  
A. 母校応援ふるさと納税など、使える手段は全て使っていく

- Q. 私立の無償化に伴い、保護者・生徒ともに施設の充実度に関心がいつてしまうのは事実。お金が無い中で何ができるかを考えるべきでは？近隣小中との交流は？  
A. 昔は交通安全運動や避難訓練、部活動の合同訓練があった。検討していく。

[生徒の「自主性」を育てるために]

- Q. 働き方改革との両立が難しいとは思いますが、市岡から部活動は無くして欲しくない。部活動の中でも育ててほしい。  
A. 加入率からもわかるように、生徒の部活動への意欲は高い。  
外部指導員も活用しづらい所はあるが、一部の教員だけに負担が重ならないように工夫しながら取り組んでいきたい。

[業務量を減らすために]

- ・民間に比べると学校現場はIT化がものすごく遅いと感じている。

教員のスキルも低い。

その中で、小学校は常日頃から相互に授業を見せ合う研修文化があるので全体としてICT能力が高い。